

スポーツ&ウェルネス新産業創出交流会(第2回スポエル交流会)の開催結果について

1 開催概要

日時 令和6年6月6日(木)

第1部 京都トレーニングセンター視察会 12時00分~14時00分

※昼食として、京都トレセンから「アスリート食」を提供(希望者のみ)

第2部 第2回スポエル交流会 14時00分~16時00分

場所 京都トレーニングセンター

第2部参加者 参加団体:27(企業等:24社 拠点施設:2施設 オブザーバー:1団体)

参加者:40名(対面31名、web参加9名)

京丹波町 5名、京都府関係機関 17名

(株)アシックス、(株)エムケイ、(株)大塚製薬、(株)キッセイコムテック、(株)京都銀行、京都先端科学大学、京都トレーニングセンター、京都北都信用金庫、(株)グレースイメー징、(株)三調、(株)スギノエイチ、(株)スポーツイノベーション、(株)スポーツX、(株)ダートフィッシュ・ジャパン、(株)タイムズモビリティ、(一社)チームキノウ、(株)電通、(株)BHQ、(同)ビバ&サンガ、(株)プレシヤスケア、(株)プロキダイ、(株)三菱UFJ銀行、(株)リカバリー、(株)リモハブ、(株)ワコール、他1社<以上、五十音順>
オブザーバー:(公社)関西経済連合会

2 交流会の内容

- 京都府から、第1回交流会(R6.3.1)での参加者からの提案を踏まえた京都丹波ロードレース大会(以下「丹波RR」という。)での実証事業案について話題提供
- 初参加の企業を中心に、スポーツ・ウェルネス分野関係各社の取組についてプレゼン
- 京都トレセンを核とした京都府や他社との連携・新サービス開発のアイデア等について意見交換
- 終了後、参加企業間で名刺交換・情報交換を行い、交流を促進

<主な意見等>

【本交流会の目的について】

- ・住民の健康増進に資するために、企業の完成段階または試作段階のサービスを活用、もしくは新しく生み出していくことが目的という理解で良いか。
→(事務局)お見込みのとおり。

【スポーツ&ウェルネス フィールドラボ(仮称)について】

- ・食や運動、スポーツと連動させた脳の健康に資する取組を、これまで異なる地域で行っていたが、南丹地域にはこれらの要素が揃っており、総合的な取組が期待できる。
- ・今は個々の技術、ノウハウが点である状態。それを繋ぐものが必要。尖ったコンセプトや先進な課題にフォーカスすることで国の支援も得られやすくなる。
- ・京都トレセンの素晴らしい施設・機能を、参加企業の先進的なアセットと組み合わせることで、同施設の魅力がさらに高まることに期待。
- ・様々な技術やリソースを持った会社が集まることで、新しいことができそうな感覚を得ることができた。今後の交流会の取組に期待する。

【データベースの構築・活用について】

- ・例えば、お薬手帳のように、身体測定や運動測定の結果を個人が毎年継続的に記録していく運動手帳のようなものを作成し、運動手帳と連携してデータを取り続けるというスキームも考えられないか。
- ・スポーツチームの合宿を京都トレセンで行い、合宿中のイベントとして、運動機能や体力の測定会を行い、データを確保していくことも考えられる。

【他事業者との協業・連携について】

- ・京都トレセンのような健康増進に資することができるリソースを地域の方にどうやって知ってもらい行動変容を起こしてもらうかが課題。例えば、小売店のネットワークを活用することで、消費者につなげていくことも考えられる。
- ・モルックが上手な方の特徴分析（投げ方等の違い）に、映像分析やセンシング技術が使えないか。上手い下手をテクノロジーで解析してほしい。
- ・今日は映像分析技術の企業が多かったが、投げる、蹴る等の力の情報（力の計測・分析する技術）は映像情報とも関連するため、これらの技術の連携が期待できる。
- ・運動は継続が大事だが、定着が難しく、面白くなければ続かない。特に子供には、“遊び”を通じて、楽しみながら体を動かす機会を提供し、スポーツにつながっていくとよい。
- ・当社は、個人の自己実現のサポート、またスポーツを通じた心身の健康に寄与することが大切と考えている。そういったところを一緒に検討したい。

【京都丹波ロードレースを活用した実証事業の実施について】

- ・丹波 RR に向けて、スポーツ医科学等の視点からのランニングクリニックをしたいと考えている。5つのテーマで企画を検討中。各企業とも連携をしていきたい。
- ・データの蓄積の最初の取組として、今回の丹波 RR の活用が期待される。

3 今後の予定

- ・今回の議論を踏まえ、南丹地域や京都トレセンでの新たな実証事業の検討の他、丹波 RR での実証事業の具体化に向けて取組を進めていく。
- ・交流会以外にも、スポーツやウェルネス分野に関係する多様な企業や大学等とのヒアリングを引き続き実施。